

令和4年度第2回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議録

1 開催日時 令和4年8月2日（火） 午前10時開会

2 開催場所 市役所旧館3階大会議室

3 出席委員

委員長	加藤 緑	委員	清水 和也
副委員長	小林 清子	委員	神崎 保
委員	瀬谷 眞	委員	大熊 賢滋
委員	柳瀬 芳枝	委員	細谷 由子
委員	田中 直子	委員	馬場 武敏
委員	福島 桜子	委員	市原 幸子
委員	三枝 加代子	委員	土田 由圭

4 欠席委員

委員	秋山 恵子	委員	武井 千尋
委員	高梨 勝智	委員	門井 祐介
委員	中村 博子		

5 出席職員

市民子育て部長	千田 和也
子育て支援課長	近藤 英明
子育て支援課子育て環境推進班長	浦邊 宜文
子育て支援課子育て環境推進班 主査	深井 洋明
子育て支援課子育て環境推進班 副主査	川上 健次郎
保育幼稚園課長	山中 千康
保育幼稚園課副課長（施設管理班長）	今村 豪
保育幼稚園課副課長（認定・給付班長）	森本 芳弘
健康推進課すこやか親子班長	牧野 恵美
学校教育課副参事（指導班長）	磯部 正史
学校教育課学事保健班長	松尾 晋治

6 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

7 議題

- (1) 袖ヶ浦市子育て応援プラン（第2期）の進捗状況報告等について
 - ①次世代育成支援行動計画の評価について
 - ②子ども・子育て支援事業計画の実績報告について
- (2) 平川地区幼児教育・保育施設整備計画（案）について

8 議事

1 開 会

2 委員長挨拶

※委員長より挨拶

3 議題

議題（1）袖ヶ浦市子育て応援プラン（第2期）の進捗状況報告等について

加藤議長

次に、議題（1）袖ヶ浦市子育て応援プラン（第2期）の進捗状況報告等について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料により説明

【 質疑・応答 】

加藤議長

ありがとうございました。

今、議題（1）袖ヶ浦市子育て応援プラン（第2期）の進捗状況報告等について、説明がありました。

大きく分けて2つの報告がありました。1つ目が次世代育成支援行動計画の評価について、2つ目が子ども・子育て支援事業計画の実績報告についてとなります。

それでは、何かご質問、ご意見等ありませんか。

加藤議長

委員の皆様にご質問等をお考えの間に、私から1点ご質問があります。

資料1-3、次世代育成支援行動計画の進捗状況について、各事業において、目標値と実績値が設定されており、目標値が実績値に満たない場合や同数値である場合は、人員配置なども想定される範囲内であると思いますが、No.1-1の子育て世代包括支援事業の相談件数については、目標値が750件に対し、令和2年の実績値は1,225件、令和3年度の実績値1,392件となっており、目標値より大幅に多くなっている状況です。令和4年度以降も相談件数は増加していく可能性があると思いますが、令和2年に目標値を設定してから、計画の途中で目標値を修正する必要はありませんか。

事務局

次世代育成支援行動計画の目標値については、5年間の計画として設定しているものであり、この計画に基づいて事業を実施していくことから、目標値を計画の途中で修正することは考えておりません。また、現在の相談件数において、人力的にも対応が難しいなどの影響はありません。

また、相談件数の実績値において、件数が多ければ、気軽に話ができると考えるか、それだけ相談する案件があるということか、逆に件数が少なければ、気軽に話しづらいのか、それだけ相談する案件が少ないのか、ということになるので、一概に相談件数が多いか少ないかではなく、総合的に事業の評価を行っていますので修正する予定はありません。

一方で、資料1-4、子ども・子育て支援事業計画についてですが、この計画は幼児保育の計画であり計画策定時に令和6年度までの見込みを推計していますが、実際には袖ヶ浦駅前を含め、市内の宅地造成などの転入により若い世代が増えている状況です。そのため、5

年計画だからとって見直しをしないのではなく、早急に見込みの見直しを図り、必要な施設整備を行っていく考えです。こちらの計画は、現在、中間の見直しを行っている状況であり、次回子ども・子育て支援会議でご審議いただきたいと考えております。

加藤議長

他に質問等、何かありますか。

※田中委員挙手

田中委員

資料1-3、No.3-1家庭教育総合推進事業について、目標値に対して実績値が多くなっており、とても良いと感じました。また公民館間の連携や各公民館での特色を出して、子育てパパ応援講座やワーキングママ支援講座などを開催しており、とても良い取り組みだと感じております。

次にNo.4-3都市公園の整備について、ある市議会議員の方が、障がいのある子もない子も一緒に遊べる配慮がされた設計のインクルーシブ遊具を設置しないかと一般質問されたら議会だよりに記載されていました。コロナ禍で屋外での遊びは非常に重要だと思うので、遊びが充実するためにもインクルーシブ遊具を設置することは検討しないでしょうか。

事務局

家庭教育総合推進事業について、公民館間の連携や各公民館の特色、学校を通じて地域を限らずに保護者への参加を募るなどしたことにより、地域を超えた保護者間の繋がりができたと感じており、引き続き事業実施していきたいと考えております。

次に都市公園の整備については、都市公園のバリアフリーに関する規定がバリアフリー法により変更があり、様々な方が利用できる公園にするという基準になっており、近年、整備された袖ヶ浦駅前海側の公園はその基準を元に整備されております。また、全ての公園遊具を一度に改修することは難しいため、各公園の改修するタイミングでその基準に則り改修を進めることで、様々な方が利用できる遊具が今後増えていくのではないかと考えております。

議題（2）平川地区幼児教育・保育施設整備計画（案）について

加藤議長

次に、議題（2）平川地区幼児教育・保育施設整備計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料により説明

【 質疑・応答 】

加藤議長

ありがとうございました。

今、議題（2）平川地区幼児教育・保育施設整備計画（案）について、説明がありました。

それでは、何かご質問、ご意見等ありませんか。

※小林副委員長挙手

小林副委員長

奈良輪地区にできた認定こども園まりんが完成した時に見学させていただきましたが、開園してみて何か問題点等がありますか。また、その状況を踏まえて今回の計画も認定こども園にしたのでしょうか。

認定こども園まりんの周囲は、コンクリートの建物ばかりですが、子供たちには、緑がいっぱいのところであってほしいという気持ちがあります。新たな認定こども園が百目木公園の近くにできたら、緑がいっぱいで平川地区にしかできない保育ができるのではないかと思います。

事務局

平成30年に開園した認定こども園まりんについて、現場から問題点等などの声は聞いておりません。ただ、保育形態として幼稚園部分と保育園部分があり、夏休み期間中や通常保育時で幼稚園部分が休みで保育園部分は保育しているという形態で、この差をどのように縮めているのか確認しないといけません。現場からは困っているなどの相談は受けておりません。

加藤議長

他に質問等、何かありますか。

※馬場委員挙手

馬場委員

運営事業者を募集するということですが、民間事業者だと採算面などを考慮すると思いますが、運営事業者の応募がなかった場合や開園後に万が一運営事業者が撤退してしまった場合は、どのように対応するのでしょうか。

事務局

運営を民間事業者に対して募集しますが、認定こども園は法律上、学校法人または社会福祉法人が設置主体になるため、法人に対しての縛りがあります。整備計画により市がどういった認定こども園を整備したいかを募集し、その計画に見合う運営事業者の提案があれば整備を進めていきます。

経営に関しては、既存の保育園などにも実施している定期監査等により運営事業者の経営状況を確認していきます。

加藤議長

他に質問等、何かありますか。

※清水委員挙手

清水委員

平川地区に住むものとして、新たな施設を整備することは地域活性化にも繋がるため、とてもありがたいことではありますが、自然などの様々な魅力があるにもかかわらず、若年層の流出は著しく、新たに転入してこない状況です。地域として今の保育所を活かし切れていないのではないかと、また新たな認定こども園を整備しても活かすことができるのか心配であり、新たな子育て世代の取り込みや地域全体の活性化が必要なのではないかと思います。

事務局

本計画の中で平川地区の魅力向上について掲げていますが、平川地区全体の活性化は本計画だけで行われるものではなく、市の様々な計画による事業を実施していくことで、地域の魅力向上が進んでいくと考えております。

認定こども園を整備するうえで地域の特徴を入れることにより、新たな子育て世代がこの地域で子育てをしていきたいと思うような施設にしていきたいと考えております。

加藤議長

他に質問等、何かありますか。

※田中委員挙手

田中委員

認定こども園の中に子育て支援センターを設置するとのことですが、認定こども園を設置する事業者と同じになるのでしょうか。

各公民館が特色をもって講座などを開催しており、また各子育て支援センターにおいても特色があつて良いと思うので、新たにできる子育て支援センターも平川地区の特色を活かすところに視点をもって運営してくれたら良いなと思います。

事務局

認定こども園は、地域子育て支援事業を行うことが必須となるため、園の運営事業者が子育て支援センターを設置し運営します。

子育て支援センターは、そでがうらこども館、また各民間保育園に設置していますが、現在は新型コロナウイルスの影響から、入園していない子や保護者が子育て支援センターを利用することが難しい状況ではありますが、どこの子育て支援センターを利用しても良いため、各運営事業者が切磋琢磨し各センターの特色を出すことで、市内により良い子育て支援センターができればと考えております。

加藤議長

他に質問等、何かありますか。

※細谷委員挙手

細谷委員

市の花はやまゆりであります。近年市内であまり見かけなくなりました。ぜひ、子ども達と一緒に市の花であるゆりを育てるような取り組みはできないでしょうか。

事務局

平川地区には、市の花であるやまゆりを由来とした「やまゆり通り」などがあります。花を育てるなどの取り組みをしてくださいと、事業者に強制することはできませんが、市の花のPRを含めるなど特色ある提案を事業選定のポイントにさせていただければと思います。

加藤議長

他に質問、意見がないようですので、議題（２）平川地区幼児教育・保育施設整備計画（案）については、終了いたします。

皆様の貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。本日の議題は全て終わりましたので、進行を事務局にお返しいたします。

4 その他

事務局より、次回会議の開催スケジュール（11月上旬開催予定）についてお知らせした。

5 閉 会